

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛の家作成日: 令和元年6月3日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	有識者や知見者の参加委員を増やし、会議の内容を地域の高齢者へのアプローチに繋げ、ホームが認知症介護の拠点となれるよう取り組んでいく。	多くの参加委員が、運営推進会議に参加する事で、認知症やグループホームについての知識や情報を得て、それを地域に波及して、認知症カフェや行方不明者捜索模擬訓練の実現を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回の全体訓練とホーム独自の訓練を2回行っているが、夜間の非常時に職員が冷静な判断と、迅速に行動できる体制の確立を目指していく。	夜間想定避難訓練を利用者を巻き込まずに職員2人で実施し、目標タイムを設定して、クリアするまで何度も訓練を重ね、夜勤の職員が、自信を持って利用者を安全な場所に誘導できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。